



## セミに耳はあるの、音は聞こえているの

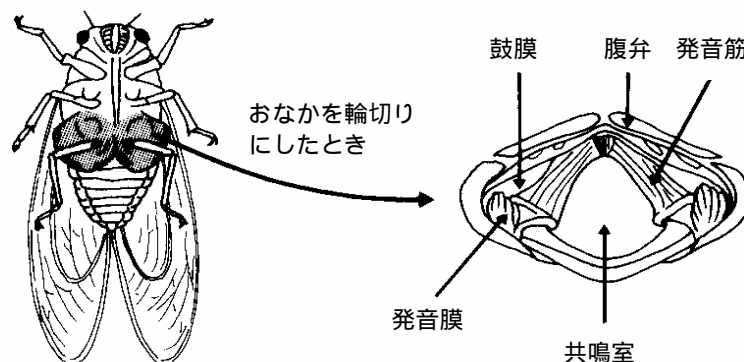
### セミの耳は、おなかの部分にある

セミの耳は、ちょっと見た目には、どこにあるかわかりません。でも、ちゃんと耳があり、夏、うるさく鳴いているセミの声の中から、同じ仲間のセミの声を聞き分けています。

セミの腹側を観察してみると、後ろ足のつけ根のあたりに、左右にふたのようなものがついています。これは腹弁とよばれるもので、これをめくり上げてみると、中に白い膜のようなものが見えます。この膜が、人間などの鼓膜にあたり、ここがふるえることで、セミは音を聞いています。

### 大砲の音には、セミはおどろかなかった

フランスの有名な昆虫学者ファーブルが、セミが鳴いているそばで、大きな音を出す大砲をうつ実験をしました。セミが音におどろいて、にげだすと思ったのですが、セミは、ふつうに鳴いているだけでした。そのため、ファーブルは、セミは音が聞こえないと考えました。しかし、セミの音を聞くしくみは、大砲の音は感じないけど、仲間の鳴き声は、ちゃんと聞き分けられるようになっているのです。（監修・中山 周平）



セミの耳のしくみ

